

〔永昌記〕嘉承二年四月十四日庚午、今日齋内親王御禊、○中酉刻寄御車出御列見、昏黑渡御者、

路頭次第

行事左少辨雅兼 網代八葉車○開物見

大夫史盛仲 小八葉車、不開物見、相具史侍、

外記兼弘 小八葉車、不開物見、相具外記使部、

〔吉記〕安元二年四月廿二日、今日賀茂祭也、○中中宮○平使車、上網代霞文、中網代、中八葉、物見、大漆

袖内寄子、色紙形、簾如例、

〔山槐記〕治承三年正月廿日己卯、今日著直衣、用日來車、中八葉、大理乘車也、物見、

〔吾妻鏡〕壽永三年元元曆十月廿四日己卯、因幡守廣元、八月十日申云、去月十八日、源廷尉○義叙留、

今月十一日聽院内昇殿云云、其儀駕八葉車、扈從衛府三人、共侍廿人、

〔大夫尉義經畏申記〕清解眼抄 正月元元曆一日五位尉○源義經、中略、

車

小八葉 簾無昌蒲淺、黃糸編、牛童白張、牛不用、

〔源平盛衰記〕四十六、賴朝義經中違事

鎌倉殿○源賴朝仰セケルハ、中九郎冠者、○源義經先ヲノミカケケレ共終ニウスデーツモ負ハズ、平

家ヲ誅罰シテ、天下ヲ鎮メタルハ、神妙ナレドモ、○中何ゾ弟ノ身トシテ、仙洞○後河ノ御氣色ヨ

ケレバトテ、賴朝ニ不合申、推テ五位尉ニナルコト、奇怪也、又立フチ打タル車ニ乘、禁中花色ノ

振舞以ノ外ニ過分也、

〔平家物語〕十一、一門大路わたされの事

同じき○文治元三月廿六日、平氏の生どり共、鳥羽に著て、やがて其日都へ入て、大路をわたさる、小八